

絵本作家のブルース

第36回 うちのオカンはすき焼きにじゃがいもを入れる。笑いたけりや飲ましてくれ。

はせがわ よしふみ
長谷川圭史
ポン酢があれば生きていける。



にいちせんすっぽんの
ええだし出てる

20歳すぎの
ワシ

ええ
時に
きた
なあ
雑炊
サービ
スヤ!

どういうことや、えー!

きょうびの著者は、鍋をつつけない人が
ふえているという…。他人とひとつの鍋料理

を箸を出して食べられたいらしい。

核家族化して家でも鍋をかこむという

経馬がなぐ云ったことが原因らしい…とか

ちよっと悲しいにえがする ワシがおっさん

になつたからがいなあ…そう思ってるのは…

あ？ 思い出した!

ワシが20歳すぎの頃、家の近所につまんない

居酒屋があつて、よくそのつまんない

居酒屋に行つてたんですよね。

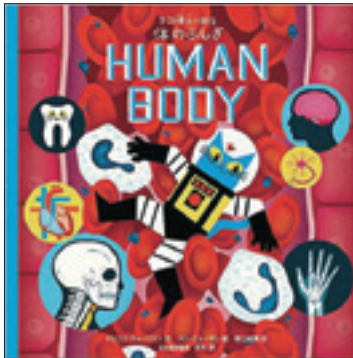
おっさんひとりであつてつまんない

居酒屋のくせになぜか、すっぽん

著作権保護コンテンツ

★ 何げない日常の中にも、「なんだろう？」と疑問に思うことがたくさんあります。

なんだろう？
身近な
不思議

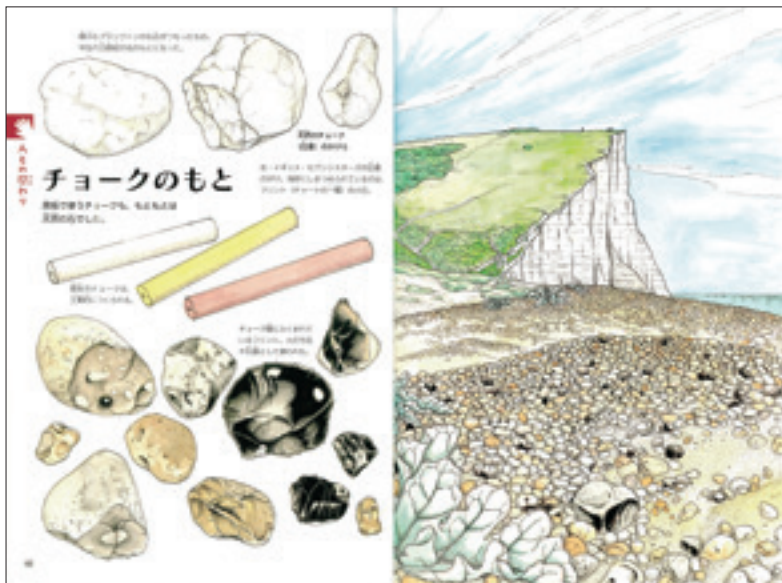


新刊

『ネコ博士が語る 体のふしぎ』

文／ドミニク・ウォーリマン
絵／ベン・ニューマン
訳／野口絵美 日本語版監修／茨木 保
2,300円（徳間書店）

約40兆個の細胞からできている人間の体。その仕組みを骨、内臓、筋肉、血液、リンパなど、さまざまな視点からネコ博士が解説します。



『生きものをつながる 石ころ探検』

文・絵／盛口 満
1,800円（少年写真新聞社）

石ころはどこにでもあります。そこでしか拾えないようなものもあります。また、どこにでもあるので、人間も昔から石を道具や建物の材料として使ってきました。



『しぜんにタッチ！ おちばで あそぼう』

写真／岩間史朗
監修／大久保茂徳
1,300円（ひさかたチャイルド）

秋になると葉が紅葉して地面に落ちます。落ち葉は色も形もさまざま。そんな落ち葉を集めて楽しく遊びましょう。



『なぜなぜ？ かいけつルーペくん』

著／うえたに夫婦 監修／左巻健男
1,600円（パイ インターナショナル）

ボールはなぜ弾むのか？ のりはどうして紙と紙をくっつけられるのかなど、生活の中の身近な不思議に、「なぜなぜ？」と疑問を持ち、ルーペくんが解決していきます。

新刊



『これだけは知っておきたい こども図鑑』

監修／多摩六都科学館
2,900円（パイ インターナショナル）

自分たち人間やそれ以外の生きもののこと、私たちが住んでいる惑星のこと、そのほかの、いろいろなとても大切なことが1見開き1テーマで簡潔に知ることができます。

新刊



絵本作家さん こんにちは！

この人にあれもこれも

せなけいこさん

PROFILE

せな・けいこ

1931年東京に生まれる。高校卒業後、童画家・武井武雄氏の弟子となり、絵の勉強をする。1969年代表作となる「いやだ いやだの絵本」(全4冊)で作家デビュー。同作品でサンケイ児童出版文化賞受賞。

祝！
絵本作家
50周年

『ねないこ だれだ』
などでおなじみ！



ほんとにたくさん絵本をつくってきたわね

夜中まで寝ないで遊ぶ女の子が、おばけになって飛んでいってしまう衝撃的な展開の絵本

『ねないこ だれだ』が世に出て今年で50年。せなさんが生んだ多くの絵本は、たくさんの人に愛され続けています。

撮影／石川正勝

絵本作家を
めざして

私は小さいときから絵を描くことも、本を読むことも好きだったから、美大に進みたいって母に言っただけで、大反対されました。だから大学には行かずに、お勤めをしながら絵本作家をめざすことにしたの。先生につくなら尊敬する武井武雄先生しかない、と思っていたから、一生懸命つてを頼って、弟子にしてくれるようにお願いしました。願えばかなうものなのね。

そのときの兄弟子から教わって、自分でも貼り絵で作品をつくるようになりました。素材の違ういろいろな紙を使って絵を描くのが、私には合っていたんでしょうね。

『ねないこはわたし』(文藝春秋)の表紙にもなった「めがねうさぎ」の服の緑の紙も、近所のお店の包み紙。売っている紙よりもずっとよかったです。なくなってしまうと、もう手に入らない。そういうことがあるから、どんなものでも紙は捨てられないの。

たくさん絵本をつくってきたわね。自分でももう何冊になったかわからないくらい。でも、今も子どもたちがそんな私の絵本を読んでくれるのよね。ほんとうにありがとう、と言いたいわ。

絵本を読んで、おばけたちと友だちになってもらえるといいですね。



『おばけバースデイ』

作／佐々木マキ
1,200円（絵本館）

「ぬお～」と排水管からおばけが出てきて、「くめらくんいるー？」と郵便ポストに声をかけました。すると「やあのかくび」とまたおばけが。おばけたちは誘い合って、ある家へと向かいました。



『うさこちゃん おばけになる』

文・絵／ティック・ブルーナ
訳／まつおかきょうこ
700円（福音館書店）

ある日、うさこちゃんはお母さんに手伝ってもらって、おばけになりました。さつそく、お友だちをおどろかせたら、「きゃー、おばけがでたあ!」と走って逃げていきました。すると、大好きなふわこおばさんにも逃げられてしまいました。



『ばけたくん かくれんぼの巻』

文・絵／岩田明子
1,500円（大日本図書）

くいしんぼうのばけたくん。おなかをすかせて、おばけまち商店街にやってきました。つまみ食いをする、そのお店の商品にばけるんです。ばけたくんを探してみてね。



『どろん ばあ
～おばけかぞえうた～』

文／小野悦子
絵／植垣歩子
900円（福音館書店）

ひとつ、ひとつ目こそうさん。ふたつ、ふたごの河童さん。みつつ、見事な大入道。と、妖怪がどんどん集まって、夜中の宴会が始まりましたよ。朝まで大騒ぎです。



『おばけパーティ』

作／ジャック・デューケノワ
訳／おおさわあきら
1,400円（ほるぷ出版）

ここは古いお城の大広間。おばけのアソビが友だちみんなを晩さん会に招待しました。カクテルから始まってフルコースの食事。最後にみんなは透明になってしまいました。



『ようちえんがばけますよ』

文／内田麟太郎
絵／西村繁男
1,200円（くもん出版）

「ばけますよ。ばけますよ」とキツネが呪文を唱えます。すると、園舎や庭の遊具、それに子どもたちまでばけました。もっと呪文を唱えると、あれ今度は……。



『ようかいしりとり』

作／おくはらゆめ
1,300円（こぐま社）

ようかい博士とろくろ首のしりとり大会が始まりました。ろくろ首→びんぼうがみ→みつ目こそう→うみぼうず、しりとりはとどんどん続きます。

『えらいこっちゃんの いちねんせい』

文／かさいまり
絵／ゆーちみえこ
1,300円(アリス館)



時間割を見れば勉強ばかり、給食のあとも、また勉強です。1年生になったばかりのほくにとっては、「ああ えらいこっちゃん」。休み時間もトイレも、給食も、えらいこっちゃんの連続です。

『そらのうえの そうでんせん』

作／鎌田 歩
1,400円(アリス館)



送電線は電気を遠くに送ります。その点検をしているのがラインマンです。たくさんの道具を身につけて鉄塔に登り、チームを組んで働きます。ラインマンの解説や4ページにわたる鉄塔の図解が理解を深めます。

『ぱんだんす』

文／やまぐちりりこ
絵／すがわらけいこ
950円(アリス館)



パンダと一緒にダンスをしましょ。リズムののって歌いながら読める絵本です。ダンスの次は散歩して、つるつるすべって……？ いろんなパンダが出てきます。みんなそろって「ぱんだんす」。

『メイがはじめて がっこうへいくひ』

文・絵／ケイト・ベアビー
訳／中井貴恵
1,500円(イマジネーション・プラス)



ママに連れられて学校に着くと、メイはすぐに校庭の木に登り「わたしぜったい がっこういかない」とさげました。すると、女の子がのぼってきて「わたし がっこういきたくない」。あら、またひとり、登ってきました。

『にじいろの しあわせ』

～マーロン・ブンドのある いちにち～
作／マーロン・ブンドとジル・トウィス
絵／EG ケラー
訳／服部理佳
1,400円(岩崎書店)



ウサギのマーロン・ブンドは、ひとりぼっちでしたが、ある日、すてきな出会いがありました。それは、ちょっと「普通」ではなかったけれど、普通と違うのは、いけないことでしょうか。

新刊

100!!

もう
読んだ？

2018年12月～2019年2月に発売された新刊絵本の中から、読みきかせにもおすすめの100冊を選びました。子どもたちとすてきな時間を過ごしてください。

※出版社五十音順

🍷 マークは乳幼児から、🎵 は中・高校生も楽しめる本です。

定期購読者限定プレゼント🎁

新刊絵本プレゼントの詳細は、このページの下欄をご覧ください。

『いちばんどり いちぬけた』

作／日隈みさき
1,300円(あかね書房)



いちばんどりは、朝一番に鳴くトリです。ところがある日「いちぬけび」と、鳴くのをやめて、みんなで旅に出てしまいました。でも、一番星を見たら、心配になってきました。「みんなは、明日の朝、起きられるかしら？」

『ハッピー・ハグ』

文／オーイン・マクラフリン
絵／ボリー・ダンバー
訳／椎名かおる
950円(あすなろ書房)



★手のひらサイズ

悲しいハリネズミは、誰かにハグしてもらいたいと思っていましたが、その願いはなかなかかきません。でも、フクロウは言いました。「誰にだって、ピッタリの相手はいるもんじゃ」。裏表紙からは、悲しいカメのおはなしです。

『わたしの おじさんの ロバ』

作／トビー・リドル
訳／村上春樹
1,400円(あすなろ書房)



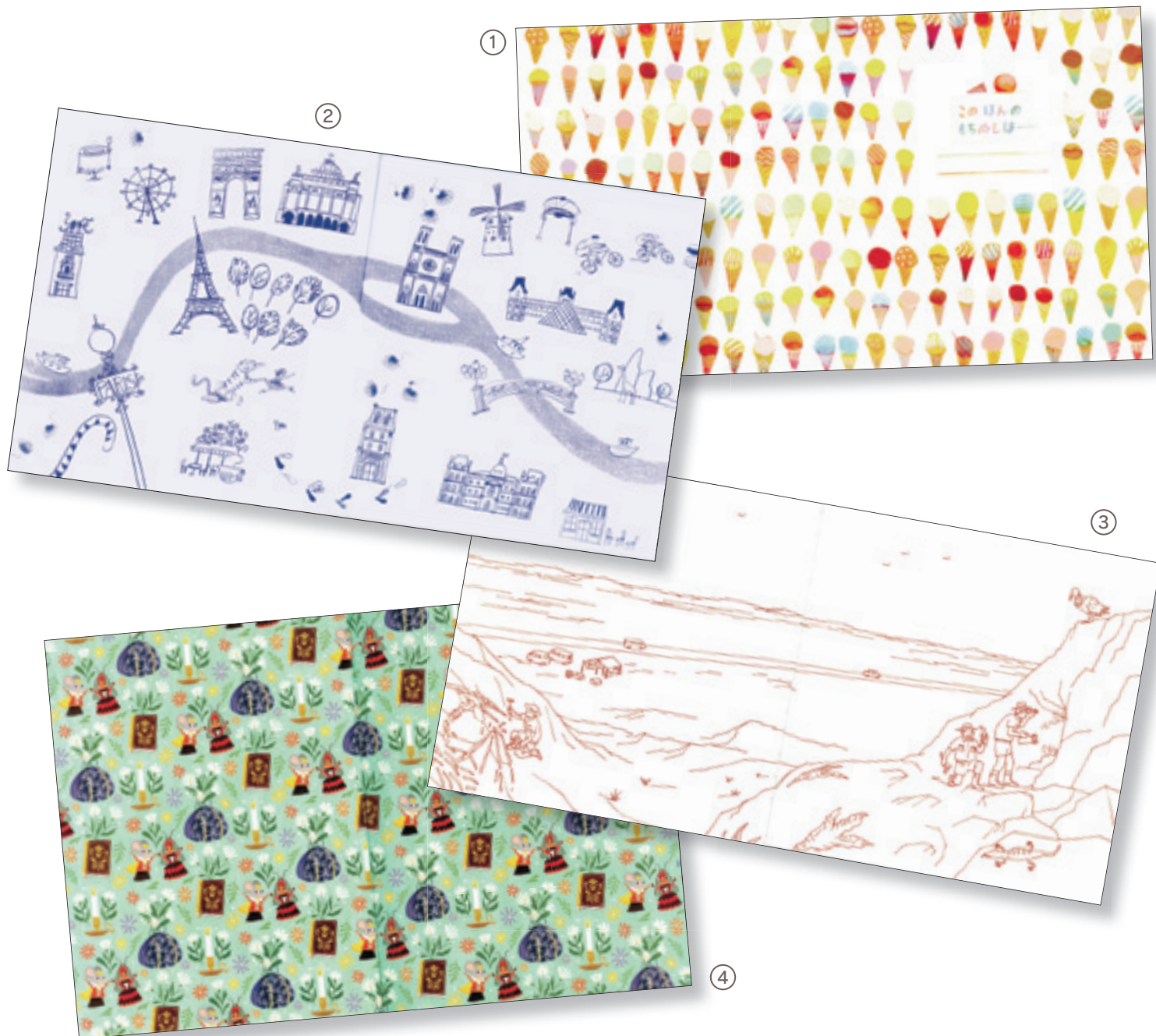
わたしのおじさんのロバは、家の中で生活していて、お気に入りのイスや映画があります。それから、かくれんぼが好きで、友だちが遊びに来たりします。音楽が好きで、ぐっすり眠れる自分のベッドだってあるんです。

見返し美人



表表紙と裏表紙、それぞれをめくった内側にある、見返し。
おはなしに入るプロローグの役目を果たしていたり、
裏側はまた異なるデザインで、おはなしのエピローグになっていたり。
今回は、この号に載っているすべての絵本の中から、とびっきり美しい見返しをご紹介します。

タイトルイラスト／アンヴィル奈宝子



④『お話の種をまいて』
(汐文社)
P45

③『すごいぞ!!
きょうりゅう』
(教育画劇)
P42

②『チュチュをきた
トラ』
(文化出版局)
P48

①『イライラくんと
こえだちゃん』
(評論社)
P47

②・③ を差し替えて中学年に

②「ブレーメンのおんがくたい
グリム童話」 15分

絵／ハンス・フィッシャー 訳／せたいいじ
1,400円（福音館書店）
ほか、童話館版（絵／ポール・ガルドン 訳／晴海耕平）、
偕成社版（文／村岡花子 絵／中谷千代子）もおすす
めてきな朝を探して旅に行きたくなります
ね。ではこんな旅はどうでしょう？ 知っ
ているようで、きちんと知らない子も多い。
少々長い物語ですが、読み手が集中を途切
れさせなければ、子どもたちは大丈夫。



③「よかったね ネットくん」 3分

作／シャーリップ 訳／やぎたよしこ
1,400円（偕成社）
今度は男の子の一人旅です。人生は山あり、
谷ありのユニークな絵本。中学年は参加型
より通常の読みきかせで。



プログラムを考えるヒント

プログラムの組み方は人によってさまざまです。読
みたい絵本から組み立てる方。語りを中心に組む方。必
ず紙芝居やビッグブックを入れる方などなど、千差万
別。私は「テーマ」を決めて選書、プログラム作成という
パターンが多いです。

そうすることにより、ある程度選書が絞られること、
流れがスムーズで、本と本のつながりの言葉も見つ
けやすくなり、「次は」「ここで」というような言葉を使わ
ずに次の本につながられるなど、いい点があります。た
だし、テーマに引っぱられ、自分の思いとは違う本を入
れたりしないよう、気をつけなければいけません。

好みの違う子どもたちそれぞれが楽しめるよう、さま
ざまなジャンルの絵本から選ぶこと。同じジャンルで
あっても長さやタイプが違うことなどに気をつけます。

そのうえで忘れてはならないことは、季節感です。最
近はコンビニエンスストアなどで季節の先取りが盛ん
です。あまり先取りをしすぎないよう気をつけて、その
とき子どもたちが体感していることを大切にしたいと
思います。



児玉ひろ美 こだま・ひろみ

図書館司書。JPIC 読書アドバイザー。小・
中学校を中心に読みきかせやブックトーク
を実施。読書アドバイザー養成講座の講師
も務める。著書に『0～5歳 子どもを育てる
「読み聞かせ」実践ガイド』（小学館）がある。

プログラム（30～40分） 小学校高学年

テーマ：「旅」

もうすぐ夏休み。さあ、時も場も自由に超えて、旅を楽し
みましょう。

①「あさになったのでまどをあけますよ」 3分

作／荒井良二 1,300円（偕成社）
日ごとに朝が早くなる季節に読みたい1冊。
高学年だからこそ感じることもあるはずで
す。東日本大震災を受けて出版されたこと
などにはふれず、言葉と絵の美しさをその
ままそっくり届けましょう。絵を見る間を
十分にとり、必要以上に甘くならないよう、
シンプルに読んでください。



②「おとうさんの ちず」 7分

作／ユリ・シュルヴィッツ 訳／さくまゆみこ
1,500円（あすなろ書房）
すてきな朝を探して旅に行きたくなります
ね。でも、この本の主人公はこんな旅をし
ていました。作者の実話に基づく物語は決
して幸せな旅ではありませんが、心を自由
に旅させていた部分は明るくテンポよく読
んでください。地名は読み違えないよう練
習を。裏表紙の本人の写真や、巻末の解説
は、ストーリーを読み終えてから、伝えます。



③-1「なんでも見える鏡 ジプシーの昔話」 10分

再話／フィツォフスキ 訳／内田莉沙子
絵／スズキコージ 品切れ中（福音館書店）

③-2「なんでも見える鏡」

『太陽の木の枝 ジプシーのむかしばなし』より

再話／フィツォフスキ 訳／内田莉沙子
画／堀内誠一 800円（福音館文庫）

自由のないシュルヴィッツは想像の旅を心
の支えに困難を乗り越えましたが、今度の
主人公は自由を得るために旅に出ます。③
-1は現在購入できませんが、版元60周年
に図書館員が選ぶ絵本として復刊され、多
くの図書館に所蔵があります。でも、③-2
を読んでもいいでしょう。読み終えたあと
は目次で他の収録作品も紹介し、読みたい
ものだけ読んでもいいことも伝えます。



④「光の旅 かげの旅」 6分

作／アン・ジョナス 訳／内海まお 1,300円（評論社）
では、私たちも旅に出ましょう。すでに知
っている子でも楽しめます。高学年なら、
本を逆さまにして戻るところからは、読み
をテンポアップしてもいいでしょう。た
だし、最後の「もうすぐ わがやだ」はゆっ
くりと読み終えてください。



⑤「クマよ」 7分

文・写真／星野道夫 1,300円（福音館書店）
旅をテーマに4冊の本を読みまし。最後
は、ここにいながら遠い北の大地にいるク
マに心を寄せ、おはなしの時間を終えます。
この1冊はじっくり読めるよう、時間配分
に気をつけて。読み終えたら「聞いてくだ
さってありがとう」で終了にします。

